

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公開番号】特開2005-146521(P2005-146521A)

【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2003-381079(P2003-381079)

【国際特許分類】

E 0 3 C 1/08 (2006.01)

C 0 2 F 1/28 (2006.01)

C 0 2 F 1/44 (2006.01)

E 0 3 C 1/10 (2006.01)

F 1 6 K 11/22 (2006.01)

F 1 6 K 37/00 (2006.01)

【F I】

E 0 3 C 1/08

C 0 2 F 1/28 S

C 0 2 F 1/44 B

E 0 3 C 1/10

F 1 6 K 11/22 Z

F 1 6 K 37/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月13日(2006.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の吐水状態を、各吐水状態に対応するボタンの押し込み操作により選択的に切り換える切換弁であって、前記押し込み操作に応じて前記ボタンの押し込み状態を表示する表示機構を備えることを特徴とする切換弁。

【請求項2】

前記表示機構は、前記ボタンまたは前記ボタン近傍に設けられた透光部と、前記ボタンが押し込み状態にあるときと非押し込み状態にあるときとで、前記透光部の視野範囲に異なった表示が行われるサイン部とを有することを特徴とする請求項1に記載の切換弁。

【請求項3】

前記サイン部は、前記ボタンが押し込み状態にあるときに前記透光部の視野範囲内に位置し、前記ボタンが非押し込み状態にあるときに前記透光部の視野範囲外に位置して設けられることを特徴とする請求項2に記載の切換弁。

【請求項4】

蛇口に着脱自在に取り付けられ、請求項1から3のいずれかに記載の切換弁を備えることを特徴とする浄水器。

以上